

令和 7 年 6 月 25 日

令和 7 年度水産大学校入学者一般選抜における出題ミスについて

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産大学校校長

本校において、令和 7 年 2 月 11 日に一般選抜の入学試験を実施し、2 月 27 日に合格発表を行ったところですが、その数学の問題において、選択肢に正答が存在しないことが判明しました。

このような事態に至ったことについて、下記のとおりご報告させていただくとともに、受験生及び関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしたことについて深くお詫び申し上げます。

1. 経緯

6 月 16 日午前に、外部の方から本校に対し、令和 7 年度の一般選抜における数学の問題 I の 2. については正答がないのではないかと連絡があり、本校として出題ミスの存在を把握しました。

6 月 17 日に校内関係者において確認をした結果、出題ミスであったことが判明いたしました。

2. 原因分析と問題点

当該問題は、「整数 n に対し、 x についての方程式 $x^2 + 2nx + 2 = 0$ が実数解を持つための十分条件でないものを以下の (1)～(4) から選び、番号で答えよ。

(1) $n > 2$ (2) $n^2 - 2 > 0$ (3) $n = -3$ (4) $0 < n < 1$ 」という内容であり、出題意図として、 n を含む x の 2 次方程式が実数解を持つための必要十分条件を導出するとともに、与えられた n の条件式が必要十分条件とどのような関係にあれば十分条件となるかを判断することが可能かを問うための問題でありました。

出題ミスに至った要因は「整数」という n に対する制限がこの問題に対しては不要であるものの、現れている変数に対して対象となる範囲を明示する必要があるため、 n という文字を使用した（通常自然数を表す場合に使う）こともあり「整数」としてしまったが、このことが選択肢に影響を及ぼす点を見落としていたことによります。

また、従来から、情報漏えいと出題ミスを防ぐため、複数の教員で出題と解答を確認していましたが、残念ながら、これまで気が付くことができませんでした。

3. 本校における対応

出題ミスの確認を踏まえ、この問題を全員正解としたところ、一般選抜試験の受験者 447 名中 174 名に点数の修正があったため、改めて校内の教授会で合否判定を行った結果、①当初不合格になっていた受験者のうち、3 名が合格、②当初第 2 志望学科に合格となっていたが第 1 志望学科に合格となった者が 7 名。このうち 5 名は 4 月に第 2 志望学科に入学済み。2 名は入学辞退。

以上のように、学外から5名、学内から5名の10名を、新たに合格者といたしました。

新たに合格者となった受験者全員に対しては、本校から個別に謝罪を行い、事情を説明した上で、合格をお伝えしました。

また、新たな合格者については、本校としてそれぞれのご事情を真摯に伺い、入学を希望される場合あるいは第1志望の学科に入学を希望される場合は、本校として最大限の誠意をもって対応を行うことといたします。

4. 再発防止と信頼回復に向けた取組

(1) 再発防止策

試験問題については、本校の規程に即して各科目について複数名の教員を選出し、作成及び確認を行ってきましたが、今後は、担当教員の拡充を行うこと、作成及び確認の役割分担を明確に分けること、及び試験問題を試験日以降早期に公表することにより、一般選抜入試の情報の機密性を維持しつつ、確実性と透明性を向上させることにいたします。

(2) 信頼回復への取組

本校としては、これまでも公正で確実な入学者選考を行うべく全職員が取り組んできたところですが、残念ながら今回の事態に至ってしまいました。

受験生、本校学生及びその保護者の皆様などすべての関係者からの信頼を回復できるよう、今回の事例を真摯に反省し、改めて全職員の役割分担や作業について見直しを行い、人為的ミスを未然に防ぐための取組を一層進めてまいります。

お問い合わせ先
国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産大学校学生部 教務課
電話：083-286-5113
E-mail: kyoumu@fish-u.ac.jp